

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

### 新規受託項目

- [12503] EZH2変異解析 (タゼメトスタット)

### 受託開始日

- 2021年9月7日(火)



## EZH2変異解析（タゼメトスタット）

EZH2変異解析（タゼメトスタット）は、EZH2阻害剤「タゼメトスタット臭化水素酸塩（商品名：タズベリク<sup>®</sup>）」の濾胞性リンパ腫患者への適応を判定するための補助検査です。

濾胞性リンパ腫は、非ホジキンリンパ腫全体の10～20%を占める低悪性度B細胞リンパ腫です。一般的に経過が緩徐であり、化学療法への感受性は良好とされていますが、再発を繰り返すことが多く治療が困難な疾患です。濾胞性リンパ腫のうち、7～27%がEZH2遺伝子に機能獲得型変異を有すると報告されています。

EZH2 (enhancer of zeste homolog 2) は遺伝子発現を調節するヒストンメチル化酵素であり、ヒストンH3蛋白質の27番目のリジン (H3K27) をメチル化し遺伝子の発現を抑制します。EZH2遺伝子の機能獲得型変異や過剰発現、あるいはEZH2抑制因子の機能不全によるH3K27のメチル化の亢進ががんおよび腫瘍増殖に重要な役割を担っていると考えられています。

タゼメトスタット臭化水素酸塩は、EZH2を選択的に阻害することでがん関連遺伝子の発現を制御し、がん細胞の増殖を抑制すると推測されています。

本検査は、2021年9月に保険適用されたコンパニオン診断薬を用いて、がん組織からEZH2遺伝子 Exon16および18中の特定の変異を検出します。

### 検査要項

項目コード	12503
検査項目名	EZH2変異解析（タゼメトスタット）*1,2
検体量	未染スライド 4～5枚（5μm厚）*3,4 [容器番号：30番]
保存方法	常温
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	検出せず
報告様式	Y646N、A692V、Y646F、A682G、Y646X の各変異について、検出せず/検出/判定不能にてご報告します。
所要日数	4～7日
検査実施料	2,500点*5 （〔D004-2〕悪性腫瘍組織検査〔1〕悪性腫瘍遺伝子検査〔イ〕処理が容易なもの （1）医薬品の適応判定の補助等に用いるもの）
判断料	100点（遺伝子関連・染色体検査判断料）
備考	*1：受付曜日：月～金曜日（休日とその前日は受付不可） *2：ご依頼に際しては、『遺伝子検査依頼書』をご利用ください。 *3：本検査で必要な腫瘍細胞含有率は15%以上です。 腫瘍細胞含有率が15%未満の場合は、病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク（実線で囲む）したHE染色スライドを併せてご提出ください。 *4：ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）処理後12カ月以内、未染スライド作製後 <u>60日</u> 以内にご提出ください。 *5：濾胞性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、治療法の選択を目的として患者1人につき1回に限り算定できます。 詳細につきましては、INFORMATION (21-32) をご参照ください。

### 参考文献

Bödör C, et al. : Blood 122 (18) : 3165-3168, 2013.